**実際のホームページ制作の流れ**

**1.制作の流れを決める(ページ内リンク)**

ホームページを作るにあたって、大切なことはしっかり目的を明確化し、制作の流れを決めることです。

　我々もまずはプロジェクトマネジメントで記載している通り、目的を明確化することから　始めました。

**誰に見てほしいのか・何を解決したいのか**皆さんも考えてみてください。

**2. ターゲットを決める(ページ内リンク)**

ターゲットとはつまり、サイトを見てほしい人です。

例えば、痩せたい20代の若者、渋谷で安いけど雰囲気が良い居酒屋を探している20代

などといった具合です。

ここでポイントはただ単に「20代で東京でお腹すいてる人」といった抽象的・範囲が広い

表現は避けるべきです。何故なら何億というサイトの中から、見てくれる可能性が低くなるからです。

**具体的・ユーザが限られる**ターゲット層を狙いましょう。

このサイトでは

”10代・20代・学校の後輩/HTML・CSSの学習でつまずいている人・体系的に学びたい人”

をターゲットにしました。

ここからは余談ですが、サイトは大きく分けて二種類あるかと思います。

能動的サイト・受動的サイトです。

受動的サイトは、ユーザ自身が調べて自分から訪問してくる場合です。

既に知名度があったり、日常的に広く普及・インフラ化しているサービス・会社の概要のページなどこの場合に当たるでしょう。

能動的サイトは、製品の紹介ページだったり、何かのサービスだったりつまりユーザが離れない工夫をしないといけないサイトを指します。

ユーザはGoogleによると5秒訳1/4のユーザが離脱すると言われています。

つまり、如何に第一印象を良くするかユーザの離脱率を下げる工夫が必要です。

**3.コンテンツを決める(ページ内リンク)**

　当然、ホームページを作りたいということは何か書きたい内容だったりサービスは決まっているでしょう。

ただここで言うコンテンツとは、**ターゲット層に何を伝えるのか**を指します。

大きく伝えたいコンテンツが一つあったとしても、細かく定義することが大切です。

例えば、英語の学習サイトがあったとしましょう。大半がリーディング・ライティング・

リスニングの様にカテゴリ-毎に分けていますよね。

大半のユーザは、自分の知りたい情報・知識を手にいれる為にサイトを訪問します。

詳細にコンテンツが分かれているほうが、ユーザは見やすいのです。

**4.サイトの構造を決める(ページ内リンク)**

コテンツのカテゴライズも終了したら実際にサイトの構造を決めます。

今回はTopページを基準とした、階層的志向で制作ので参考に図を貼り付けます。

**Article**

**Article**

**Article**

**Article**

**Article**

**SUB-PAGE**

**SUB-PAGE**

**SUB-PAGE**

**TOP-PAGE**

我々の場合SUBPAGEは、制作準備・HTML・CSSの三種類、Articleは今見ているページ

つまり記事のことである。

構造を決めることにより、top-pageに必要な情報だったり、どのページにも表示される

ヘッダーやフッターのボタン要素を決定することができる。

**5.ページレイアウトを決める。(ページ内リンク)**

どページに何の情報を載せるか決定したら、ページのレイアウトを決める。

ここで必要なのは**統一感を大切に・見やすいデザイン**にすることだ。

統一感が大切なので、ページで使うテーマ色やボタン配置は統一したほうが良い。

不要な情報は見難さにつながるので、配色は5色以内に押さえ、配置などの工夫

によって画面上の情報量を押さえよう。

　また、SUB-PAGE同士、記事同士といった**同じ階層のページはデザインを統一**

しよう。

デザインレイアウトを転用することで、ユーザも見やすいし作業が効率化できる。

レイアウトデザインは、必ず制作前にイラストレーターなどで理想の状態を可視化することを

お勧めする。手書きでもよい。本ホームページは手書きでレイアウトを決定した。